

(1) 高校生等へ提供するアントレプレナーシップ教育プログラムの開発・運営

高校生等に対するアントレプレナーシップ教育プログラムの開発・提供と、体系化されたアントレプレナーシップ教育のノウハウ伝承を目指す指導方法や教材化と普及・伝播を実現するための基盤事業を展開する。早稲田大学・筑波大学・千葉大学・神奈川県立保健福祉大学・芝浦工業大学において既に存在するプログラムを拡充させつつ、新たな先駆的な取り組みを本事業において進め、GTIE全体で同教育プログラムの効果的と考えられる施策・アプローチを進める。



高校生等におけるアントレプレナーシップ教育機会の拡大

合同成果発表会/海外派遣/教育レガシーの創出

《主幹機関》 早稲田大学	《共同機関》 筑波大学	《共同機関》 千葉大学	《共同機関》 神奈川県立保健福祉大学	《共同機関》 芝浦工業大学
-----------------	----------------	----------------	-----------------------	------------------

(R6年度の主な取組み)

早大: 高校教員等向け教育研修ワークショップの実施、選抜した高校教員の米国ボストン派遣研修

R6年度米国派遣高校生による報告・アントレ普及啓発活動

筑波大: 小・中・高生を対象とする講座の実施、中・高教員を対象とする研修プログラムの実施

千葉大: 導入教育の映像コンテンツの改善・普及活動、開発プログラムの探究学習への展開

保福大: 小中学生向けコンテンツ(漫画)の学校授業等での活用/ワークショップ実施

芝浦工大: 中高生を対象にしたビジネスモデルコンペティション・ワークショップ等の展開

全体: プログラム受講生等の成果報告会、複数の普及啓発イベント開催



(2) 持続的にプログラムを提供する体制の構築

GTIE教育WGを1~2か月に1回開催、本事業に係る各大学の活動を詳細に報告し、全体での議論を通じて活動への相互フィードバックを密に行い、GTIE全体として効果的・効率的な実施体制を構築した。今後は過去のFDプログラム参加者中で特に関心の高い教員等と連携する等して高校教員コミュニティの構築をめざす

(3) 広報・イベント等の実施

GTIE (<https://gtie.jp/>) や各機関の起業家教育関係のウェブサイト積極的に活用するとともに、メディア取材も積極的に受け入れ活動を広くアピールし、ムーブメント醸成にも注力した。GTIE全体の成果発表・ネットワーキングの場として「中高生がやってみた! アントレプレナーシッププログラム成果報告会」を開催した

活動成果

- ・2024年度: のべ8,310名の小中高生へのアントレプレナーシッププログラムの提供、および369名の教職員に対する研修や普及啓発の機会 PF全体の成果発表、ネットワーキングの場として全体成果報告会を開催、アントレ大使による講演、17組のアイデア発表、200名が参加
- ・公的組織、様々な民間プレイヤーなど外部機関との連携が進み意義の共有ができた。様々な課題や制約要因の抽出も行うことができた。